

計画の名称	天岩戸地区都市再生整備計画											
計画の期間	平成28年度 ~ 令和02年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	高千穂町											
計画の目標	大目標：神都高千穂の活性化をサポートする岩戸の顔づくり 目標1：岩戸固有の歴史・文化資源を活用・伝承する魅力あふれるまちづくり 目標2：岩戸を訪れる人の回遊性・利便性の向上による快適に過ごせるまちづくり 目標3：岩戸の誇りを伝えられる商業・観光の活性化による活気あるまちづくり											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	828	A	828	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26末)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (R2末)
1	・高千穂町を訪れる年間入込観光客数を1,429千人/年から1,581千人/年に増加させる。 高千穂町を訪れる年間入込観光客数	1429千人/年	1489千人/年	1580千人/年
2	・高千穂町に宿泊する年間観光客数を147千人/年から174千人/年に増加させる。 高千穂町に宿泊する年間観光客数	147千人/年	157千人/年	174千人/年
3	・高千穂町を訪れる観光客の宿泊・土産品・飲食に係る年間消費額を35億円/年から40億円/年に増加させる。 高千穂町を訪れる観光客の宿泊・土産品・飲食に係る年間消費額	35億円/年	37億円/年	40億円/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	地域再生計画を含む
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	-----------

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	高千穂町	直接	高千穂町	-	-	都市再生整備計画(天岩戸地区)(1-A-1)	道路整備等	高千穂町						828	-		
												小計						828		
											合計						828			

交付金の執行状況

(単位:百万円)

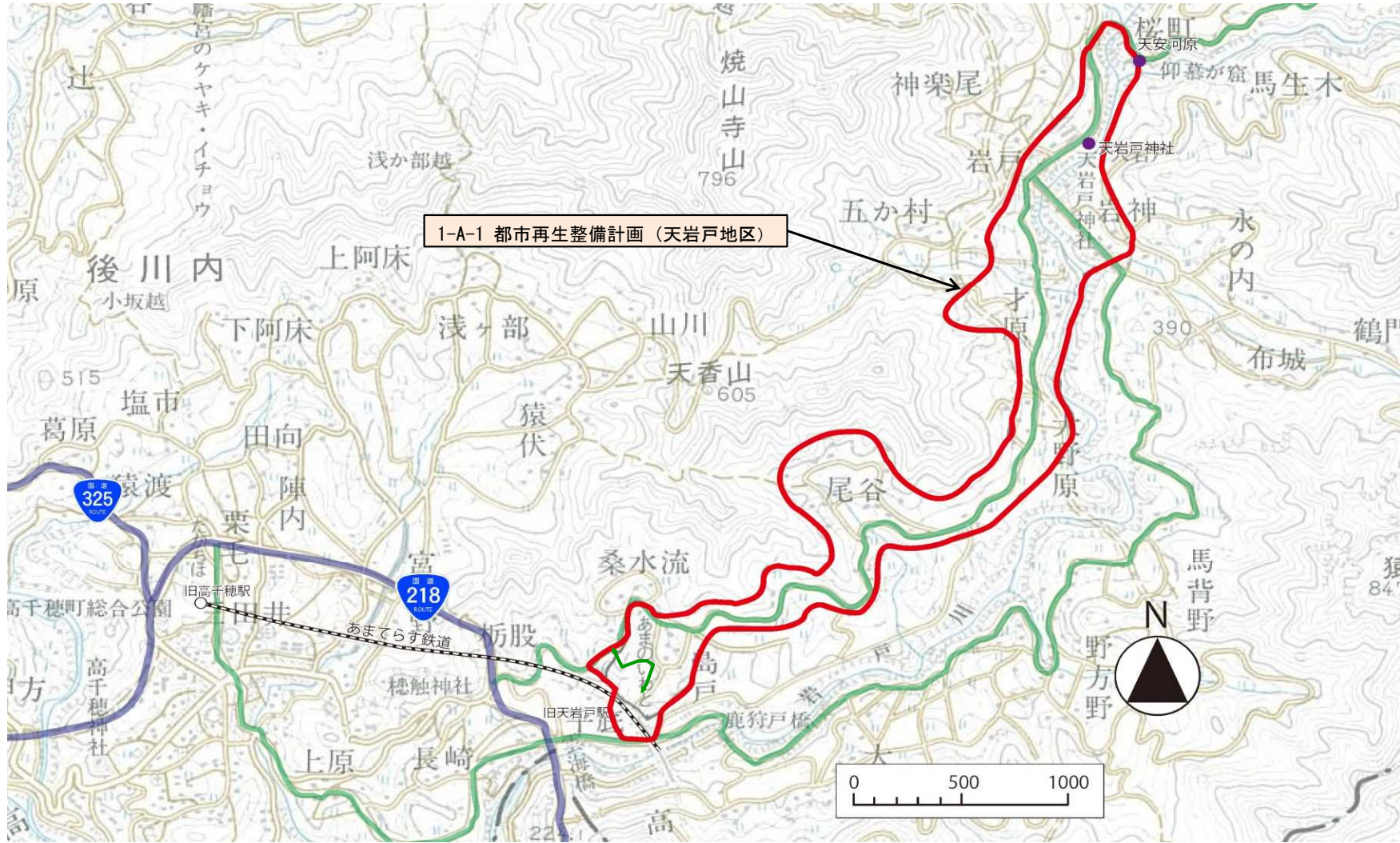
	H28	H29	H30	R1	R2
配分額 (a)	6.200	40.600	22.200	69.100	
計画別流用 増△減額 (b)	0.000	0.000	0.000	0.000	
交付額 (c=a+b)	6.200	40.600	22.200	69.100	
前年度からの繰越額 (d)	0.000	0.000	34.485	11.680	
支払済額 (e)	6.200	6.115	45.005	33.605	
翌年度繰越額 (f)	0.000	34.485	11.680	47.175	
うち未契約繰越額 (g)	0.000	0.000	0.000	17.893	
不用額 (h = c+d-e-f)	0.000	0.000	0.000	0.000	
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由				施設等のデザインについて、地元との合意形成に不測の日数を要したため。	

※ 平成28年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考様式3)

(参考図面)

計画の名称	天岩戸地区都市再生整備計画		
計画の期間	平成28年度～令和2年度	交付対象	高千穂町



## 事前評価チェックシート

計画の名称： 天岩戸地区都市再生整備計画

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

事前評価

チェック欄

III.計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	2) 交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	○
III.計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○